

講義名	日本事情D【留学生科目】		
科目区分	留学生		
担当教員	福岡 寿美子		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	32064

主題と概要

日本人学生および留学生が、現代の日本事情、すなわち現代の日本文化および日本社会等について学ぶ。前半は、日本で実際に生活・学習している大学生と留学生との交流に基づき、彼らの視点から作成されたテキストを用いて、各テーマについて学ぶ。現代の日本人学生が日本についてどのように考え、留学生に何を発信しようとしているのか、また日本に留学してきた外国人学生が日本の何について知りたがっているのかについて学ぶ。これらの知識をもとに、後半は、日本人学生と留学生が、それぞれペアあるいはグループになってプロジェクトワークを行う。主体的にテーマを設定し、ディスカッションをし、調査、資料収集、情報整理、分析をし、レジュメ等を作成し、口頭発表を行い、最後にレポートを作成し、冊子体にまとめる。Peer Learning ピア・ラーニングを行う。

到達目標

日本人学生および留学生が、現代日本事情について、ペアワークあるいはグループワークを行うことによって、異文化接触、異文化交流、異文化理解をし、相互理解を深めることを到達目標とする。日本人学生および留学生が、コミュニケーション能力、ディスカッション能力、調査能力および資料収集能力、情報整理および分析能力、プレゼンテーション能力、レポート作成能力等々を高めることを到達目標とする。課題の作成および提出によって、日本人学生は、母語による日本語文章表現能力を高めることを到達目標とする。日本人学生は、母語としての日本語および自国の文化・社会としての日本文化・社会を、世界の中の一つの言語、文化・社会としてとらえ、発信できる能力を高めることを到達目標とする。留学生は、外国語としての日本語および外国文化・社会としての日本文化・社会を学ぶことを到達目標とする。方法論を学ぶことによって、さまざまな課題を設定し、問題解決能力をつけることを到達目標とする。

提出課題

準備学習、ワークシート、ポートフォリオ、課題作文、レジュメ、レポート等、授業中にその都度指示する。

評価の基準

期末試験（20％）、中間試験（10％）、口頭発表（20％）、課題の提出（30％）、授業参加度（20％）等による総合評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とる。全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。遅刻3回で1回欠席とする。15分以上の遅刻は欠席となる。準備学習を行ってください。日本人学生と留学生のペアワークおよびグループワークを行う。ピア・レスポンスを行う。プロジェクトワークを行う。真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

『留学生のための日本事情入門 1冊でわかる最新日本の総合的紹介』桂島宣弘編 文理閣
『異文化理解入門』原沢伊都夫著 研究社
『インタビュープロジェクト 日本人の価値観発見』山下早代子、小川早百合著 くろしお出版
『日本事情ハンドブック』水谷修、佐々木瑞枝、細川英雄、池田裕編 大修館書店
『21世紀の「日本事情」』21世紀の「日本事情」編集委員会編 くろしお出版
『日本タテヨコ』学習研究社
『しきたり』国際日本語研究所編

授業計画

第1回：イントロダクション
授業の進め方および注意事項、スケジュール、教材、評価方法等
第2回：『留学生のための日本事情入門 1冊でわかる最新日本の総合的紹介』
覚えておきたい日本語の日常表現、他、DVD
第3回：『留学生のための日本事情入門 1冊でわかる最新日本の総合的紹介』
日本人の食生活、他
第4回：『留学生のための日本事情入門 1冊でわかる最新日本の総合的紹介』
日本の春・夏、日本の秋・冬、他
第5回：『留学生のための日本事情入門 1冊でわかる最新日本の総合的紹介』
日本の名所、他
第6回：『留学生のための日本事情入門 1冊でわかる最新日本の総合的紹介』
日本の芸能、日本の芸道、他
第7回：『留学生のための日本事情入門 1冊でわかる最新日本の総合的紹介』
現代日本の音楽・映画事情、現代日本の大衆娯楽、現代日本の若者文化、他、DVD
第8回：中間理解度試験の実施およびその解説
第9回：プロジェクトワーク：テーマの選択、検討、決定
第10回：プロジェクトワーク：調査、資料収集、情報整理・分析
第11回：プロジェクトワーク：レポートの構成、執筆、作成
第12回：プロジェクトワーク：口頭発表の準備、ハンドアウト作成等
第13回：プロジェクトワーク：口頭発表1 ディスカッション、評価
第14回：プロジェクトワーク：口頭発表2 ディスカッション、評価
第15回：総復習および期末定期試験の傾向と対策について、課題提出

予習・復習

指示された準備学習（予習）を、毎回2時間行ってください。授業で学んだことを基に実践学習（復習）を、毎回2時間行ってください。

備考